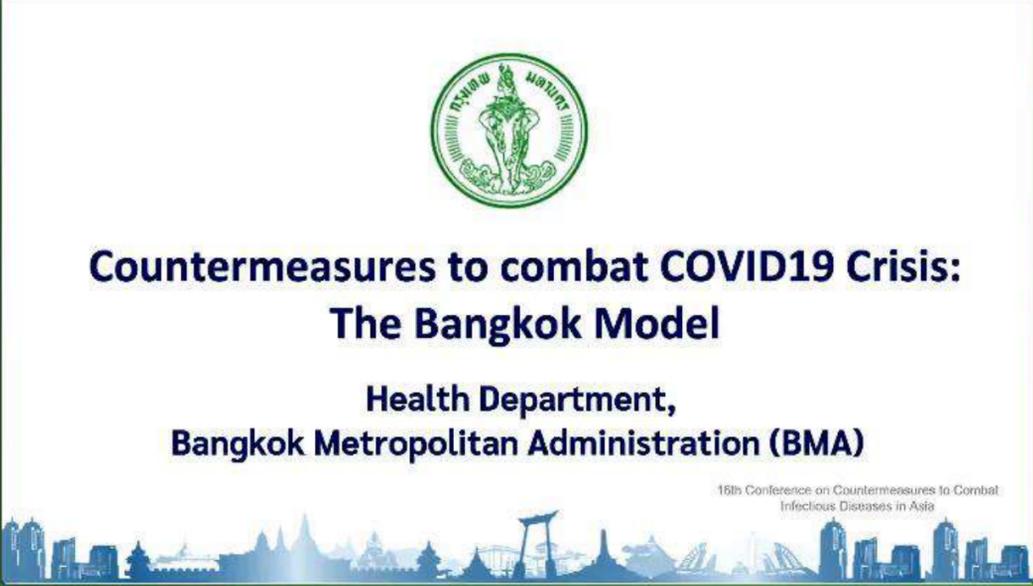


バンコク

CCIDA16 |  BANGKOK Organizational Systems Vaccination PLEASE CLICK THE BOX OF RIGHT TOP CORNER TO MAXIMIZE QUESTION WINDOW.

MEDIA PLAYER



16th Conference on Countermeasures to Combat Infectious Diseases in Asia

DOWNLOAD

-  Countermeasures to combat COVID19 Crisis: The Bangkok Model
-  新型コロナウイルス感染症危機の対応策: バンコクモデル

Q1. Regarding slide 11

(Q) About Bubble and Seal - We understand the Bubble and Seal is a method of infection prevention mainly for laborers in factories and construction sites. Laborers living off the factory premises are brought to work by private bus, etc. (Bubble), and infection spreading is also prevented by providing accommodations for infected employees where they can stay for a period of isolation (Seal). How are these measures

Q2. Regarding slide 13,25,30, etc.

(Q) About home isolation and community isolation.?Please explain the difference of the roles of these two.

(A) Home isolation will be applied for patients with mild symptoms whose house is available for isolation. (For example, patients who live in detached house where there are several rooms/bathrooms which they can use separately

Q3. Regarding Slide 13

(Q) There are many clusters on construction sites, in accommodations (e.g., camp sites), factories, companies, etc. Are there any particular factors behind these break outs?

(A) Lack of social distance because they normally stay in the overcrowded dwelling. They are also unable to comply with disease control measure due to their way of life, for example,

「新型コロナウイルス感染症危機の対応策： バンコクモデル」



新型コロナウイルス感染症危機の対応策： バンコクモデル

バンコク都庁 保健局

10th Conference on Countermeasures to Combat
Infectious Diseases in Asia



「新型コロナウイルス感染症危機に対応するバンコクモデル」について、お話しさせていただきます。

概要

- バンコクにおける新型コロナウイルス感染症の概観
- 感染抑制のための組織体制
- 状況分析および調査システム
- 感染爆発（アウトブレイク）の調査
- 新型コロナウイルス陽性者の管理
- 新型コロナウイルス予防接種プログラム
- バンコク包括的新型コロナウイルス感染症対策チーム

16th Conference on Countermeasures to Combat
Infectious Diseases in Asia

2

こちらが本プレゼンの概要です。

バンコクにおける
新型コロナウイルス
感染症の概観



バンコクにおける新型コロナウイルス感染症の概要を説明します。

バンコクにおける新型コロナウイルス感染症爆発には、3つの波がありました。

第1波は2020年2月から2020年12月まで。

ボクシングの試合、娯楽施設、ナイトクラブおよび国外からの帰国者が発生源でした。

バンコク都は、タイ第1の都県としてバンコク地区で部分的ロックダウンを発令しました。

その後、タイ政府が全国的ロックダウンを発令しました。

第1波の初期段階では、タイではコロナに特化した治療法がなく、患者は成人と高齢者の集団に発生したため、死亡率は最高で4%となりました。

その一方、娯楽施設などは臨時休業が続き、祝祭行事は禁止されました。ロックダウンは2020年7月1日に緩和されました。

第2波は2020年12月の中旬に始まりました。

第2波の震源地は、サムット・サーコーン県の実業市場です。

この県は首都バンコク近郊の海岸部にあり、労働者の大半は出稼ぎ労働者でした。

その後、流行はバンコクの広い範囲に広がりました。

このためバンコクは2021年1月から2月にかけて、第2波に見舞われました。

初期段階では、濃厚接触者でのみ感染が確認されていたので、感染爆発は制御可能とみられていましたが、3月上旬より、デルタ株が急速に拡散したため、またもや感染爆発の第3波に見舞われました。

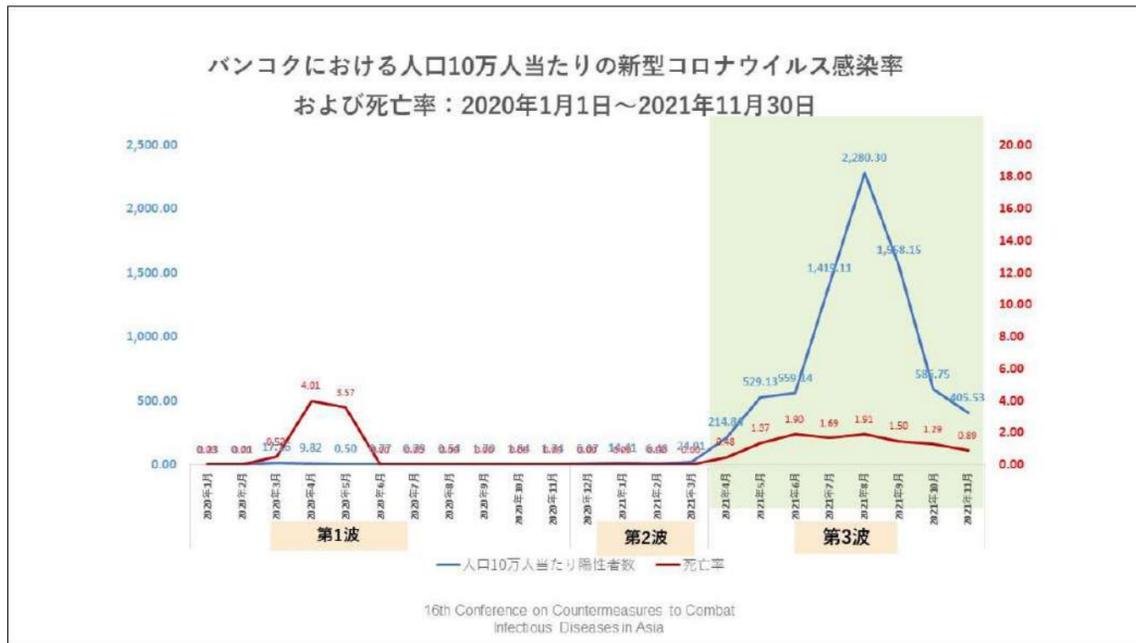
陽性者の95%がデルタ株に感染したことが確認されています。

また 全ての病院が満床となり、感染抑制に問題が生じました。

このため、軽症患者または重症化リスクのない人は、自宅または病院で隔離および治療されました。

診療ガイドラインを全国で実施し、抗ウイルス薬ファビピラビルを、なるべく早くあるいは感染確認後4日以内に投与するとしました。

投与後、2021年7月には罹患率および死亡率が急速に低下していることが確認されました。



性別・年代別の陽性者の割合



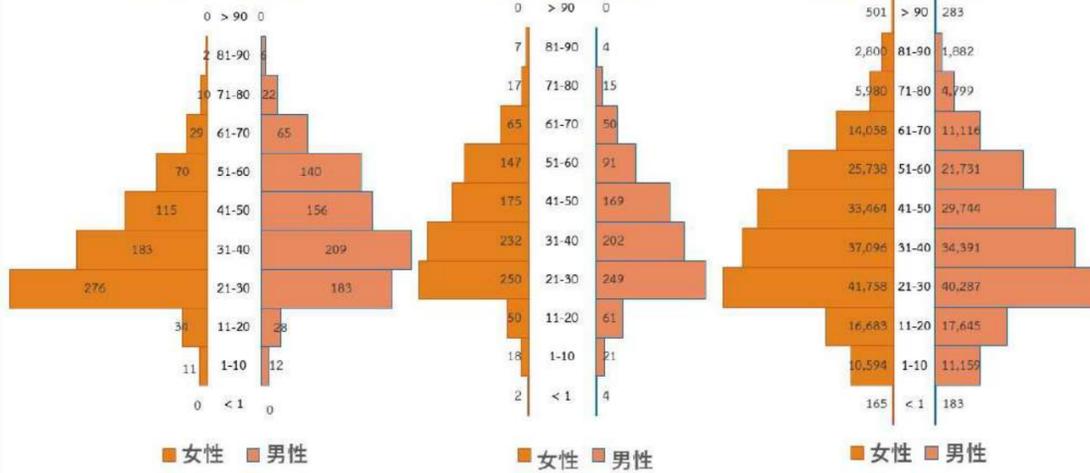
患者を年齢別にみると、生産年齢人口の患者が最も多く、男女差はありませんでした。

性別・年代別の陽性者の割合

第1波 = 1,973人

第2波 = 2,898人

第3波 = 422,076人

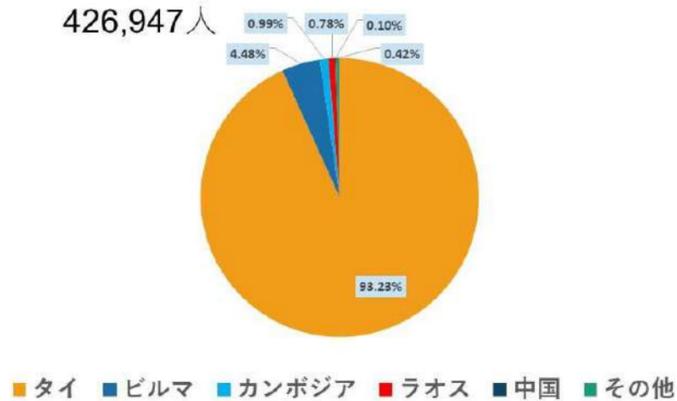


年齢および性別で分類すると、第3波では小児が最も多く感染しました。これはワクチン接種をしていなかったためです。

感染爆発時における陽性者の国籍別割合

陽性者数の総計

426,947人



第1波から第3波までの全患者に占める外国人の割合は約7%でした。

第1波・第2波・第3波における陽性者の国籍別割合



感染爆発の第1波では、国外からの帰国者が10%におよびました。一方、第2波はサムット・サーコーン県の出稼ぎ労働者に発生し、第3波では全体に流行が広がったことが分かります。

第3波：バンコクにおける新型コロナウイルス感染症危機



16th Conference on Countermeasures to Combat Infectious Diseases in Asia

第3波ではバンコクに多くの感染者が発生し、死亡者数が劇的に増加しました。バンコクではロックダウンを発令し、国の基準に従って患者を看護する体制を整備しました。また自宅隔離および地域隔離を実施するガイドラインを作成し、同時にワクチン接種の迅速化も図りました。バンコク当局は他に先駆けて移動ワクチン接種班を設置し、外国人労働者もいる市場などの地域住民にワクチンを接種しました。

バンコクにおける新型コロナウイルス感染症の状況

(データ：2021年4月1日～12月8日)

本日の新規の陽性者数

陽性者数の累積

2021年12月8日

+ 847

過去7日間での新規陽性者数の1日平均 796人

428,443

調査システムおよび病院報告

タイ人 277,379 外国人 34,384

地域での陽性者の積極的発見

タイ人 109,068 外国人 7,612

+7

過去7日間での死亡者数の1日平均 3.29人

死亡者数の累積 6,784 (1.58%)

自宅隔離

新規 21

累積数 124,501

地域隔離

新規 0

累積数 18,796

予防接種 (回数)

本日実施数 29,033

累積数 18,283,163

累積内訳

1回目 9,119,054 118.44%

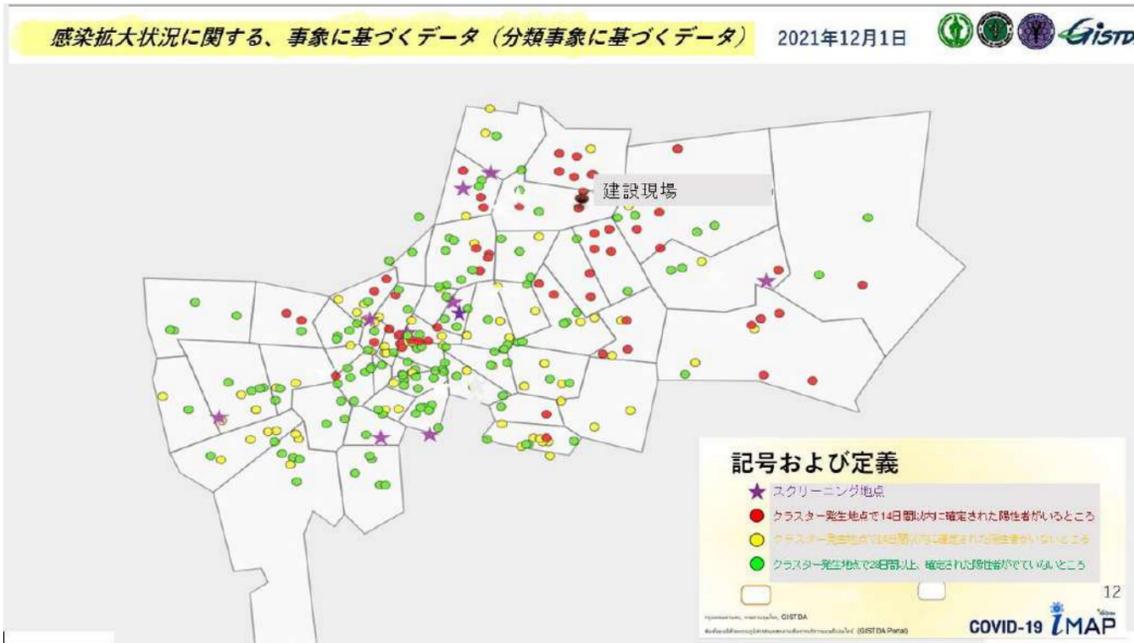
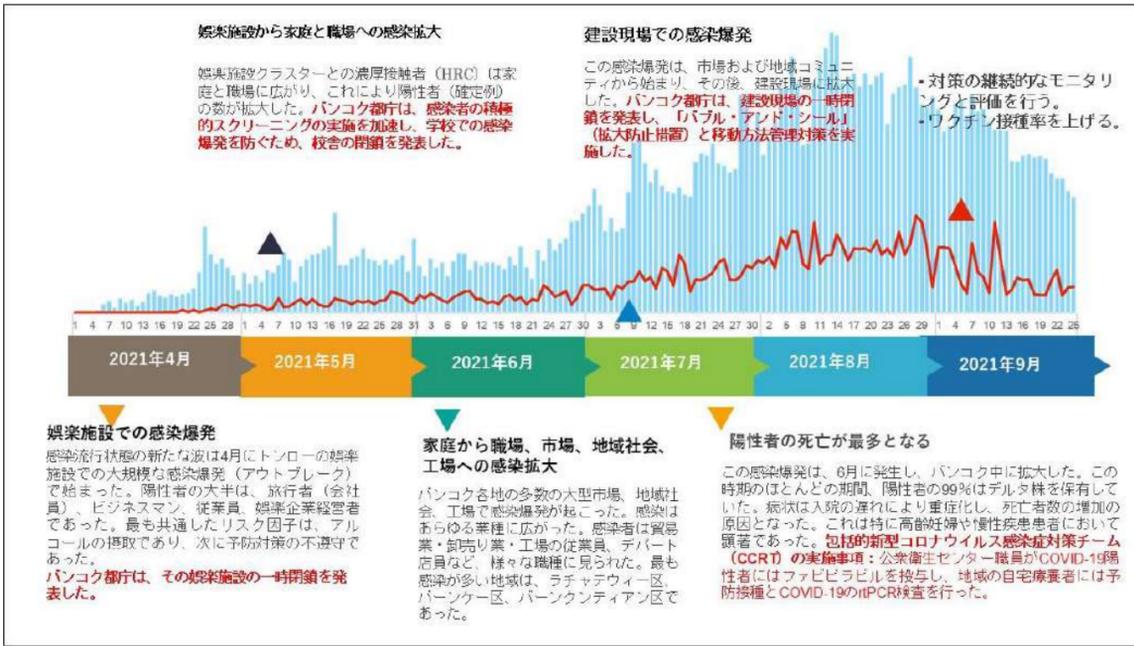
2回目 8,045,788 104.50%

3回目 1,118,321

2021年12月7日 (午後4時)

首相をセンター長とする新型コロナウイルス感染症状況管理センターを設立し、センターは地方当局と政府機関が合同で運営しています。その目的は、感染爆発を抑制して感染を濃厚接触者に留め、病床数に余裕が出るまで軽症者を看護することです。

第3波の詳細図です。



データを収集し、バンコク市内の感染クラスターをモニタリングしました。

新型コロナウイルス感染症のクラスター	
<p>合計221件のクラスターが発生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建設現場と作業員宿舎：68件 2. 工場または会社：67件 3. 地域社会：35件 4. 市場：21件 5. 高齢者介護施設：13件 	対策
	積極的な陽性者調査
	定点観測調査
	バンコク包括的新型コロナウイルス感染症対策チーム（バンコクCCRT）
	自宅隔離
	地域隔離
	集中的な予防接種プログラム
	バンコク都庁の条例と法律の強化
	新型コロナウイルス感染症に対する世界的な予防体制

計**221**件の大規模クラスターが発生しました。
バンコク都は感染抑制策を継続しました。
積極的な陽性者特定と定点観測調査を実施し、共同患者紹介システムを提供し、ワクチンの3回接種の完了を急ぐとともに社会的および法的手段を確立しました。

新型コロナウイルス感染症危機 準備と対策：バンコクモデル



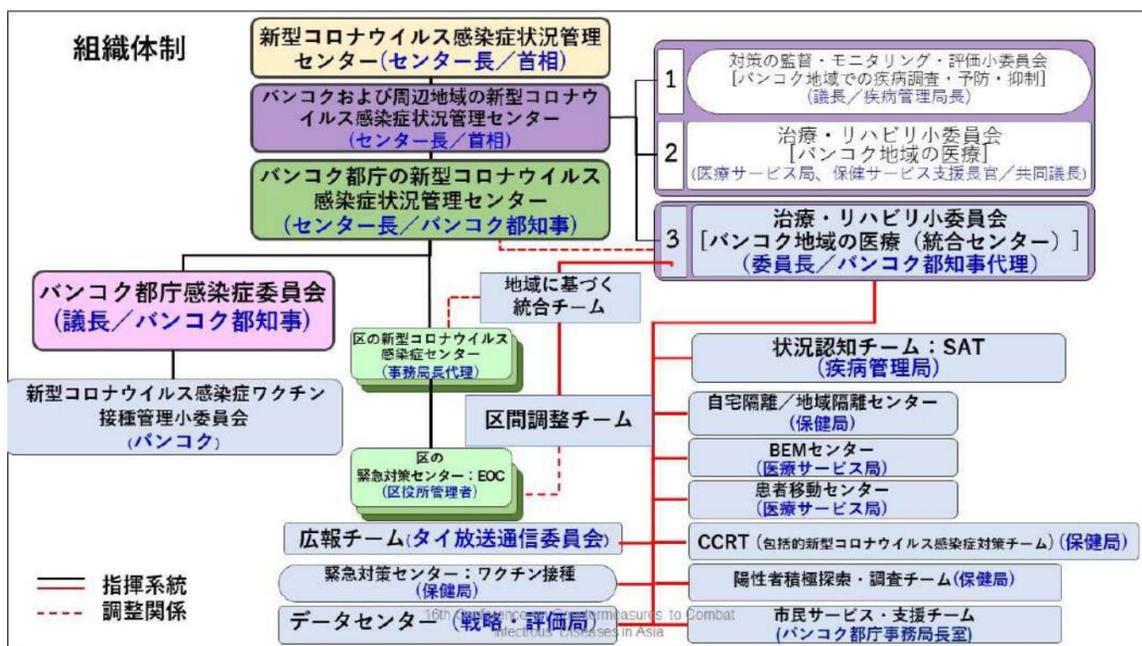
バンコクが新型コロナウイルス感染症を克服するために準備した6つの対応策を示しています。

1 感染抑制のための組織体制

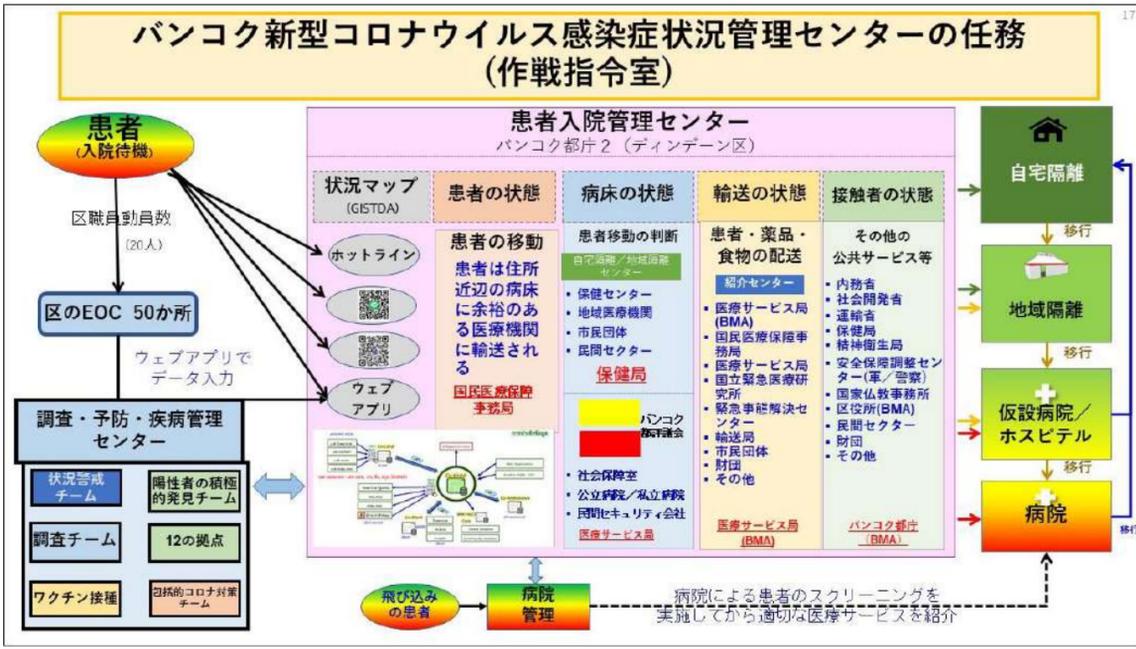
実施組織

- ❖ バンコクおよび周辺地域の新型コロナウイルス感染症状況管理センター
- ❖ バンコク都庁の新型コロナウイルス感染症状況管理センター
- ❖ バンコク都庁感染症委員会

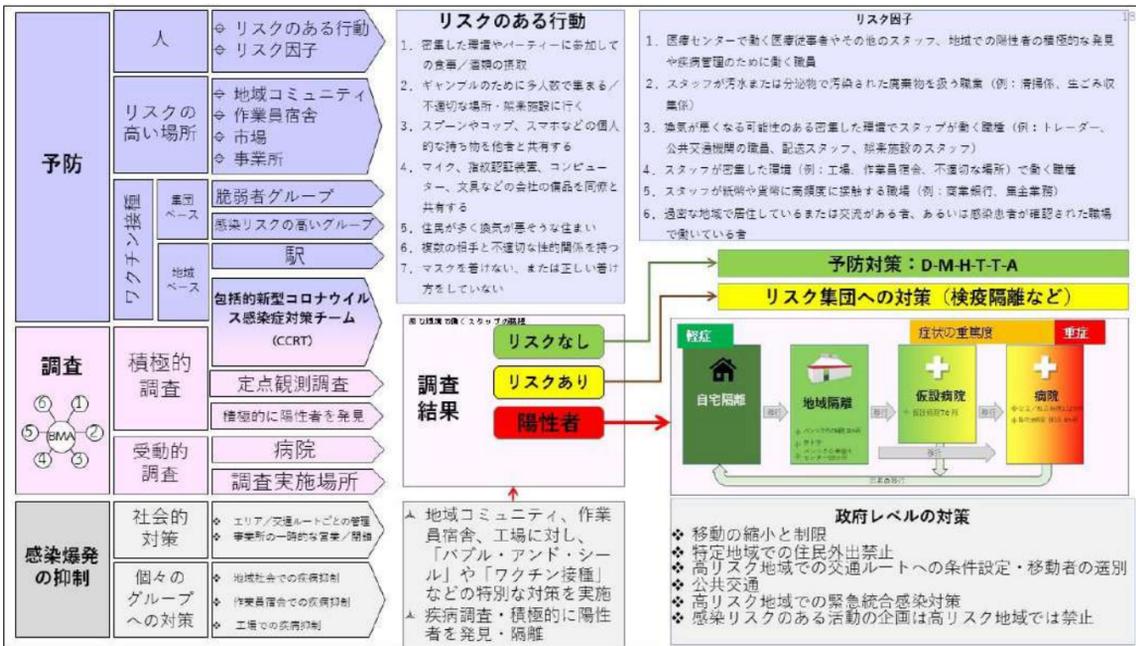
感染抑制のための組織体制です。



首相を議長とする統合疾患抑制委員会です。各区には統合計画に従って行動する下部組織である共同チームもあります。地域で発症者が出た場合、医療従事者が連絡を受け、速やかにあらゆる手段を取ることができます。



50区の地域社会で積極的な陽性患者特定を続けてきました。死亡率を低下させるため、特定された患者を速やかに紹介するシステムを作りました。症状は3つのレベルに分類しました。レベル1：無症状または重症化リスクのない軽症患者には、自宅隔離 (HI) または地域隔離 (CI) の実施を勧告。レベル2：重症化リスクのある軽症患者には、ホスピタル滞在または仮設病院入院を勧告。レベル3：中等症患者には入院を勧告。



現在は、予防、積極的な陽性者の特定および疫学的制御を実施しています。

② 定点観測調査

定点観測調査

積極的/受動的調査

定点観測調査システムは、各地域で継続中です。

陽性を積極的に発見するための拠点

キラパット2 ラーチャターウィー区	政府合同庁舎 ラックシー区	72周年 スタジアム ミンブリー区	
保養施設 パトゥムワン区	公共スペース バーンブラット区	バーンケーピロム 市場 バーンケー区	
トゥパテミー スタジアム ドーンムアン区	陸軍クラブ ディンデーン区	エンコ駅 センター ラックシー区	

バンコクでは外国人および地方出身者を含む全ての人を対象に、新型コロナウイルス無料迅速検査サービスを提供してきました。

新型コロナウイルス感染症 定点観測調査システム

- 地域コミュニティと市場
- 職場
- 工場
- 建設現場

バンコクでは地域社会、職場、工場や市場および建設現場で、健康診断サービスの提供を続けています。

3 感染爆発の抑制

- ❖ 社会的対策
- ❖ 個別の集団への対策
- ❖ 感染爆発の調査

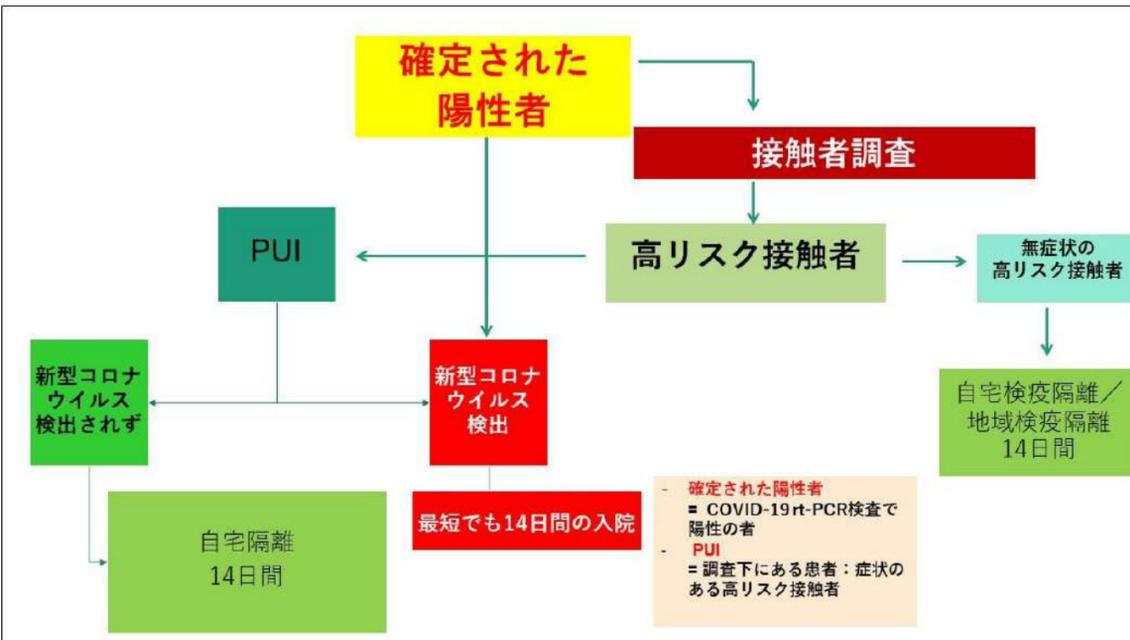
集団発生の調査と抑制を、特に大規模クラスターに対して実施しています。

感染爆発(アウトブレイク)の調査

地域コミュニティでの感染爆発調査中の写真です。



23



これらは陽性を確定した場合に取る対応を示したものです。まず濃厚接触者を迅速に救済できるよう追跡します。これは予防としての治療という考え方です。その際、濃厚接触者は必ず検疫隔離しなければなりません。



地域検疫隔離

バンコクでは、有効な検疫隔離施設がない場合、無料の検疫隔離施設を14日間提供し、2回の無料PCR検査を実施します。